

2022年（令和4年）10月吉日

各小・中学校長様
各教育関係者様

福山市立鞆の浦学園
校長 宇根一成

福山市立鞆の浦学園 公開研究会(第二次案内)

義務教育学校から考える“認知のしくみ”

～続・「探究」の世界にどっぷりつかると～

晩秋の候、皆様方には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、見出しのとおり、研究会を開催いたします。本校では、“認知のしくみ”から見直した授業について考えを出し合い、子ども達も教職員も個人テーマを設定して「探究」の世界にどっぷりつかるとして日々の授業改善を目指しています。日常の授業、子どもの姿から、皆様と「学び」について考え、今後の実践に生かしていきたいと考えております。

つきましては、ご多用のこととは存じますが、多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

1 日 時 11月25日（金）14時00分～16時30分

2 会 場 福山市立鞆の浦学園 〒720-0202 福山市鞆町後地1240番地1
TEL 084-982-2043

3 日程等

14:00	14:10	14:55	15:00	15:10	15:30	16:30
受付	公開授業 1～3年・特支は14:55まで	休憩 移動		取組発表		TOMOに学ぶ会

4 公開授業

学年	教科等	授業者	個人テーマ
1 2	生活	津村 村上	仲間と学び合う基盤づくりの学級経営 ～『学びが面白い』の入り口から学び合いの基礎作り～ 必然性のある学びの創造
3	鞆学	藤原 小林・佐藤	続・「なんで？」から始める探究学習 ～「学びあい」を軸として～
5	体育	小田 石口	「子ども主体の学びから、本質的な問いを突き詰める！」 ～多様性を認め、生かし、協働することを通して自己有用感を育む～
6 9	理科	池原・品川 寺岡・高栞・宮原	学年の枠を超えた主体的な学びの探究
8	国語	中田・馬屋原 横上・松下	自ら本と、自分と向き合う ～本とタブレットを使い分ける能力の育成～
1～6 特支	自立・生単	山脇 彌久末・兼崎	多様性を活かしながら、「自分で考えて、決めて、やってみる」ができる 環境づくり

5 取組発表～本校の特色ある取組を紹介します～

- (1) チャレンジタイム (小林)
- (2) 鞆学 (佐藤)

6 TOMOに学ぶ会

(1) 児童生徒に普段どのような学びをしているのか聞くことができます。

(例)・一人一台配布されたタブレット端末を、どのように活用していますか。

- ・鞆学では、どのようなことを学習していますか。
- ・義務教育学校のよさとは何ですか。 など



(2) “認知のしくみ” から見直した授業について皆の考えを出し合い、「学び」を深めていきます。

(例)・「認知のしくみ」とは

- ・「学校」, 「教師」の役割
- ・「探究」とは など

7 問い合わせ・申込方法

○参加を希望される方は、11月18日(金)までに次の方法で申し込んでください。

電 話 福山市立鞆の浦学園 084-982-2043

E-mail gimu-tomo@manabi.city.fukuyama.hiroshima.jp

8 お願い

- 当日、同居家族を含め37.5℃以上の発熱や風邪症状がある方は参加をご遠慮ください。
- 新型コロナウイルス感染状況によっては、変更する場合があります。

